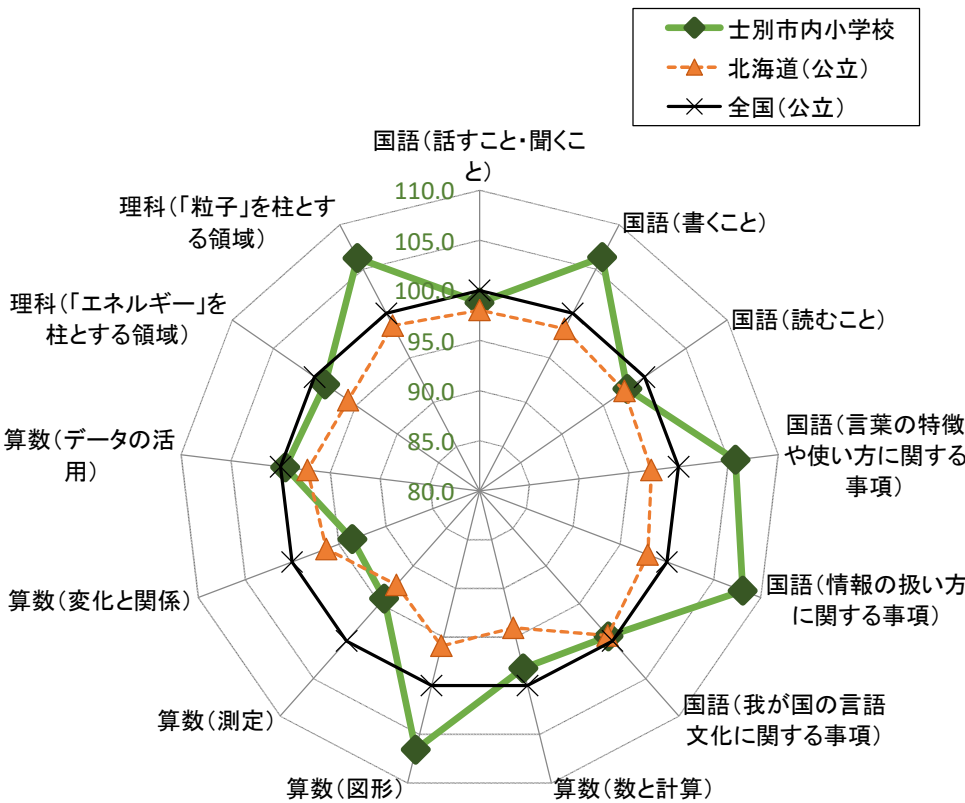


令和7年度全国学力・学習状況調査 士別市内の状況及び今後の改善方策

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

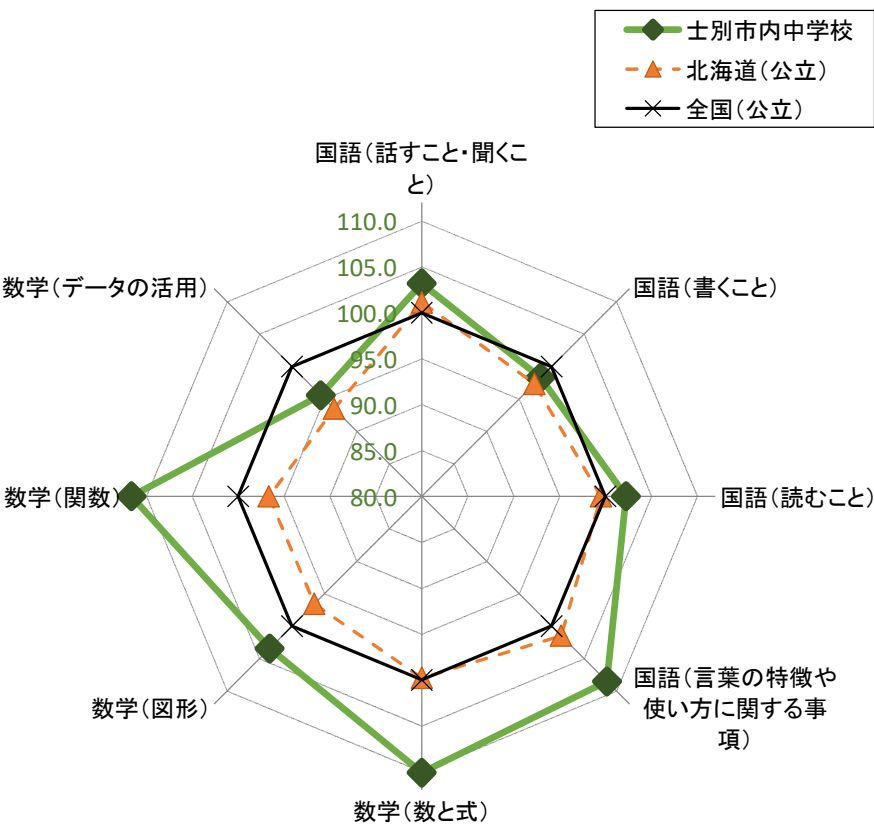


小学校数:6校、児童数:88人 中学校数:4校、生徒数:91人

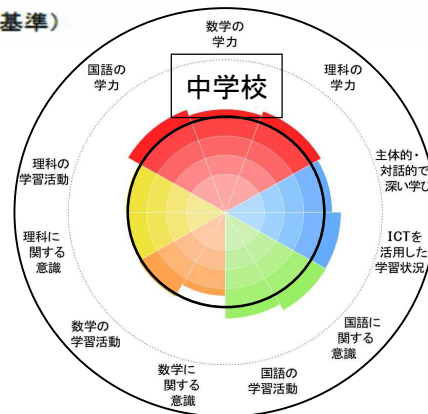
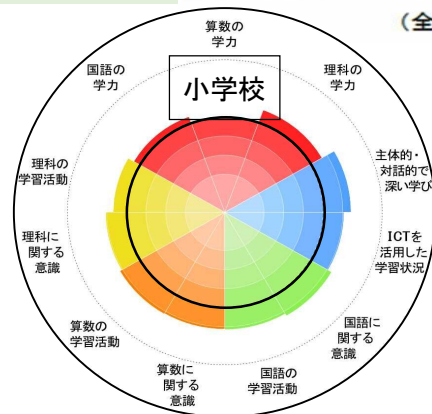
【平均正答率・平均IRTスコア】

※中学校理科は平均IRTスコア

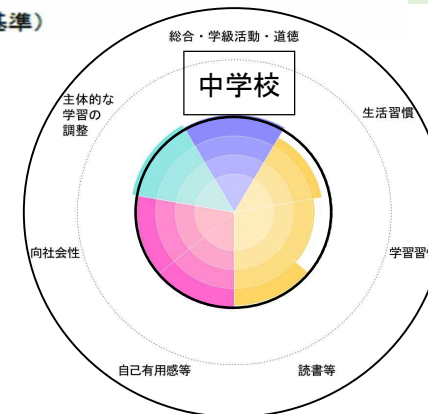
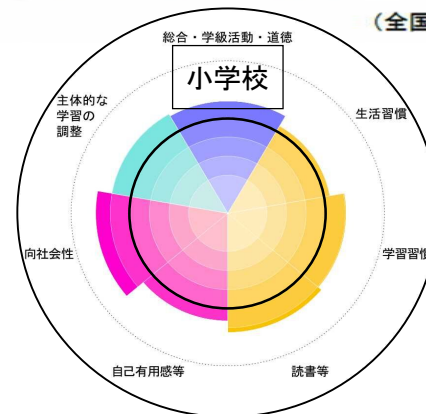
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
士別市	68	59	62	55	51	507
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503



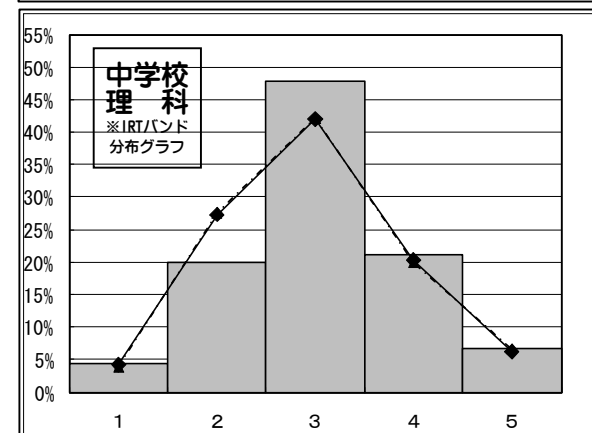
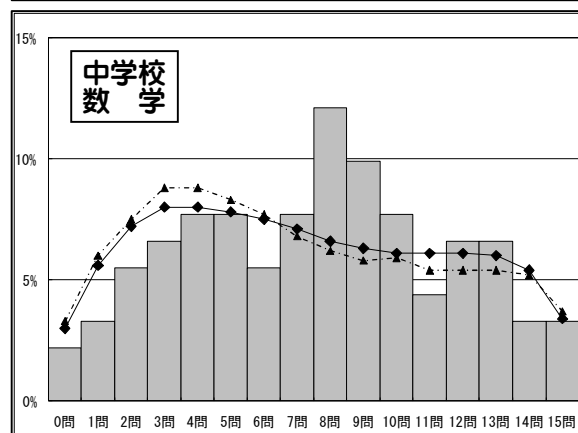
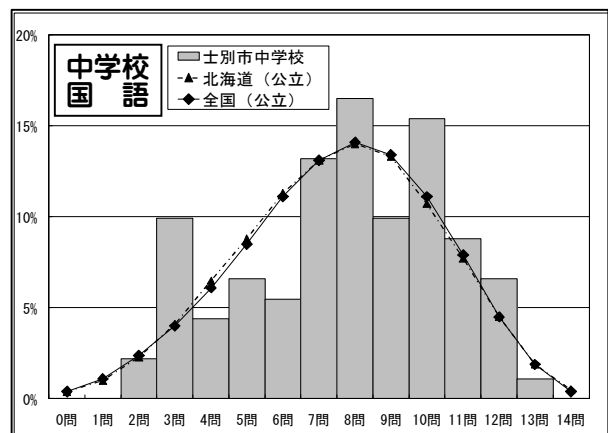
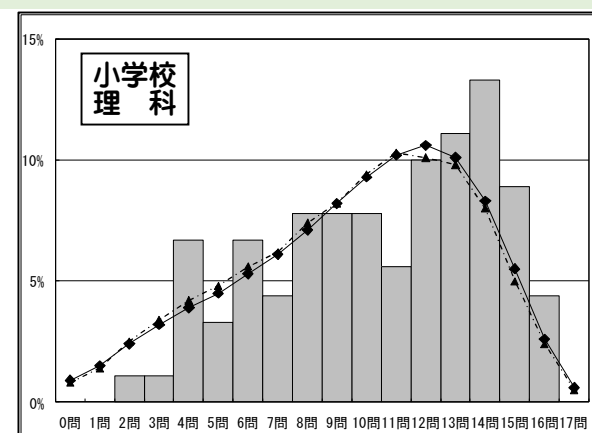
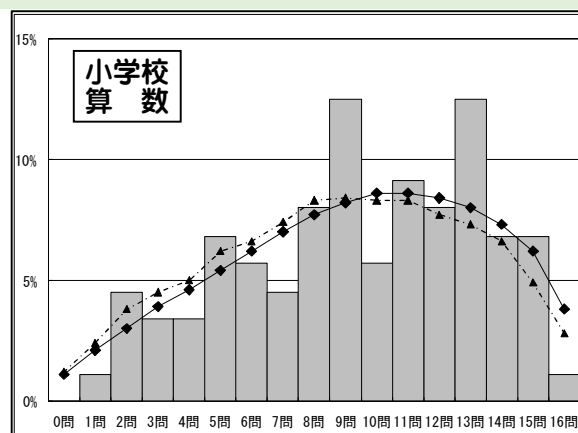
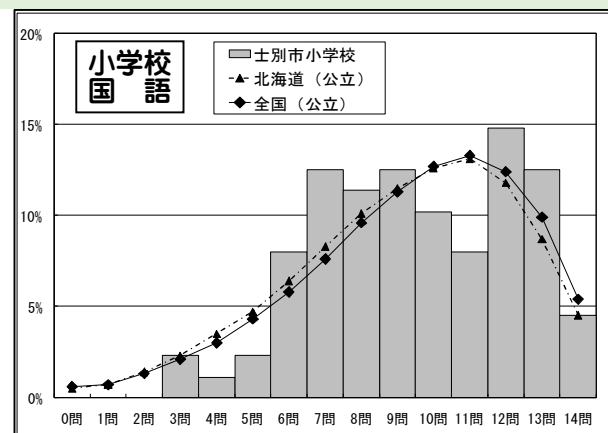
○ 結果チャート [教科を中心とした学力・学習状況]



[その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）]

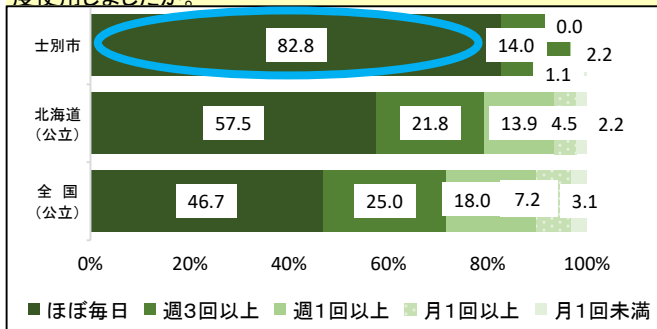


○ 正答数分布グラフ・IRTバンド分布グラフ

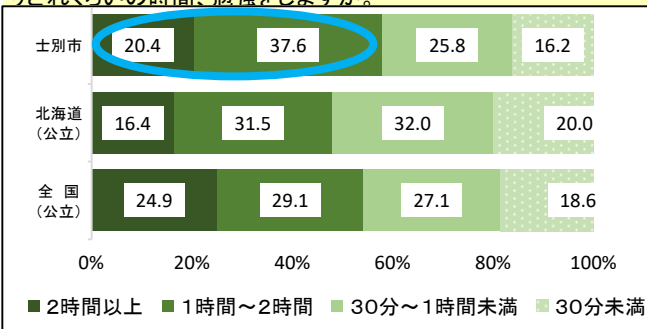


○ 質問調査(児童質問紙・生徒質問紙)の状況

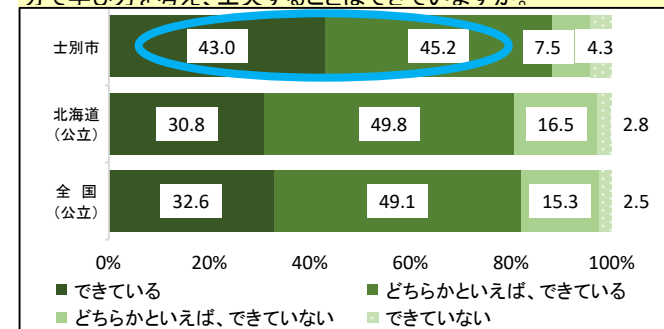
【小学校】毎日の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



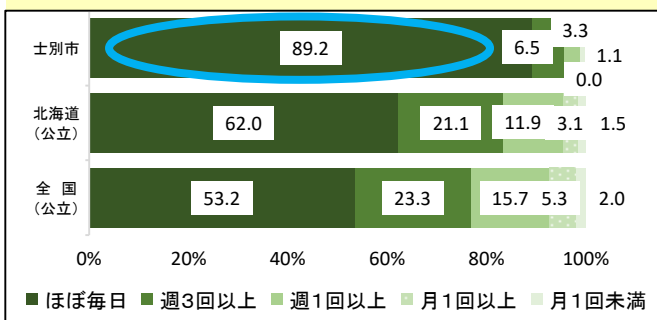
【小学校】学校の授業時間以外に、平日(月～金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。



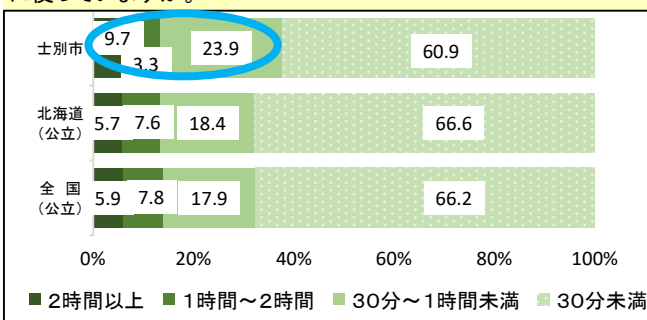
【小学校】分からないことやよく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



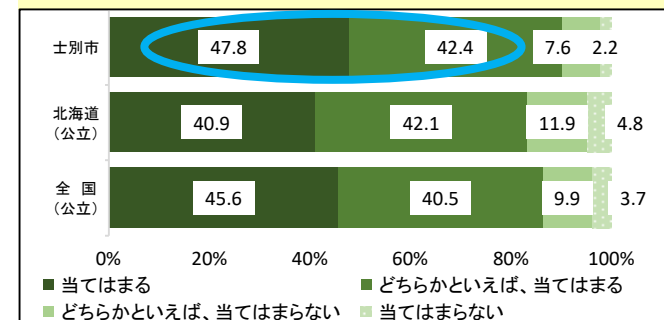
【中学校】毎日の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



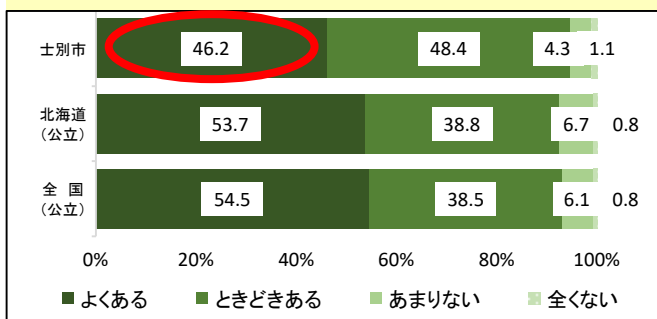
【中学校】学校の授業時間以外に、平日(月～金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。



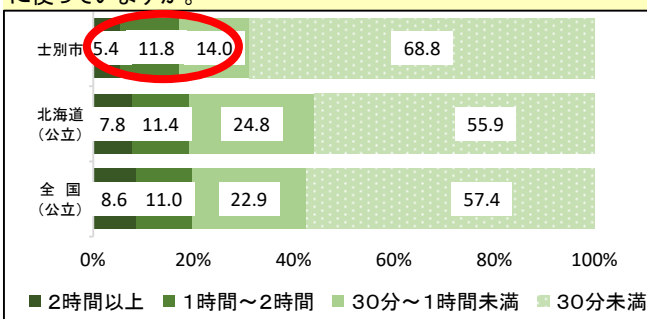
【中学校】学校に行くのは楽しいと思いますか。



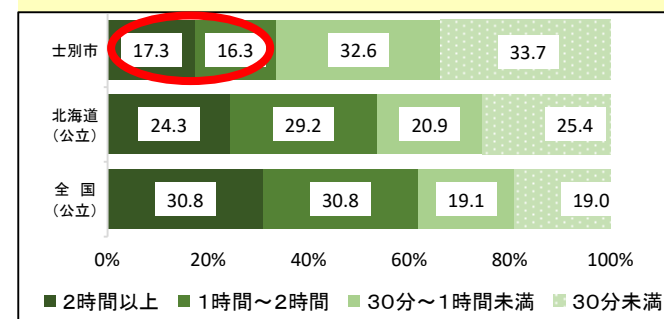
【小学校】普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



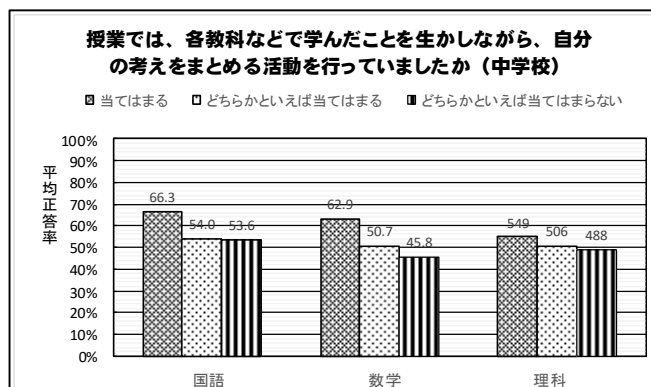
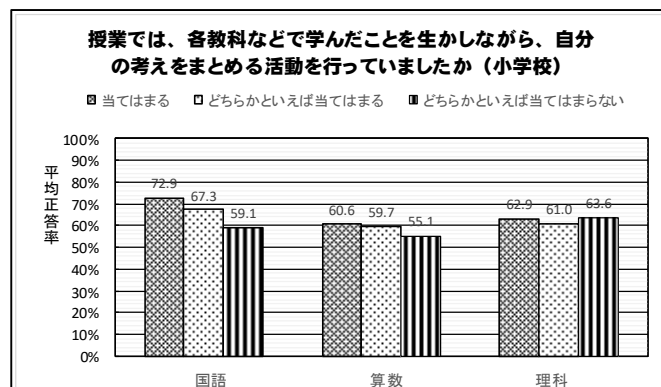
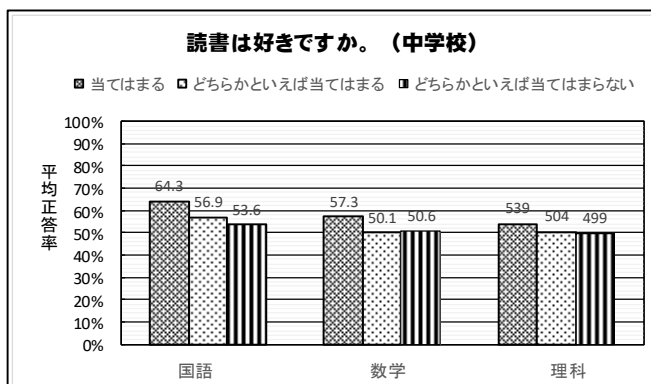
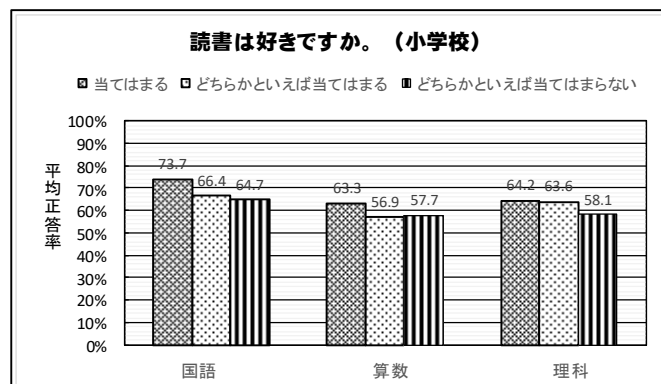
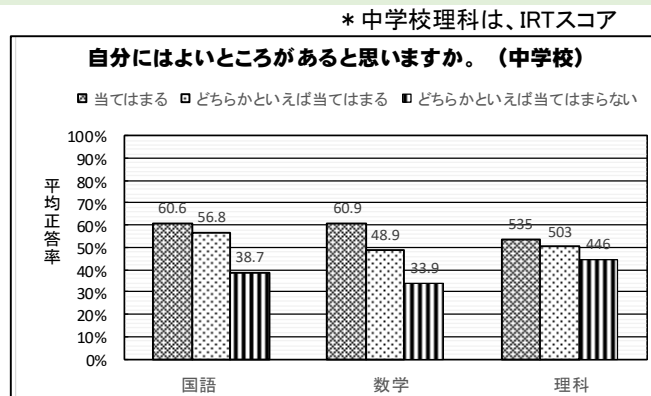
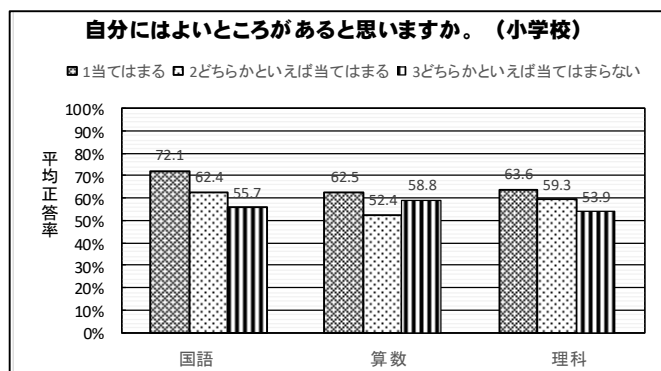
【小学校】学校の授業時間以外に、平日(月～金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。



【中学校】学校の授業時間以外に、平日(月～金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。



○ クロス集計[質問－教科]グラフ



○ 調査結果の分析

◇士別市小学校及び中学校において、国語・算数(数学)・理科全ての調査教科で、全国・全道の平均正答率(理科は、平均IRTスコア)を上回った。特に中学校では、R6調査よりも国語・数学の両教科で全国比7pt～15ptの向上が見られた。

◇調査教科の領域と学習状況(内容・意識)は、ほとんどの項目で全国値と同程度または上回っているが、算数の「変化と関係」「測定」領域、数学の「データの活用」領域と「学習意識」で全国値を下回っている。
正答数の分布は、全国・全道と同程度であるが、全体的に中位層が多い。

◇質問調査では、小・中学校のICT機器活用(授業・家庭学習)、小学校の家庭学習、学び方の工夫状況、中学校の「学校が楽しい」という回答が全国値を上回っている。
一方、小学校の学校以外のICT機器活用状況、普段の生活の中で「幸せな気持ち」になる頻度、中学校の家庭学習時間には課題傾向が見られる。

◇クロス集計では、小・中学校とも、自己肯定感・読書好き・学びを生かしたまとめ活動の回答が「当てはまる」児童生徒ほど平均正答率が高くなっている。

● 今後の改善方策

■授業改善に向けた実践交流(校内研修、市教研・市教委主催研修等)を充実することで、指導方法の共有や授業力の向上を促し、児童生徒一人一人の状況に応じた個別最適な学習を図る。

■ICT機器を活用した授業づくりを一層推進し、児童生徒が自ら学びを振り返り、考えをまとめたり発表したりする機会を充実させ、自己肯定感や学習意欲の向上につなげる。

■家庭学習においては、学習支援ソフトやAIドリルを活用した取組や課題の個別化・最適化を進め、学び方の工夫や計画的な学習習慣の定着を図る。

■児童生徒が学校生活や日常生活の中で学びの成果を実感できるよう、学級経営や生徒指導と一体となった取組を進める。